

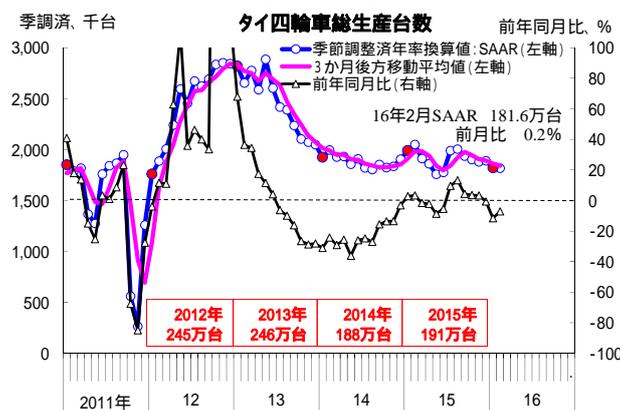
**タイ自動車市場月次統計（2016年2月）**

**2月は国内需要の反動減と輸出減速のダブルパンチで生産が減少**

2月の輸出台数（年率）は前月比約1割減の116万台と2015 暦年実績を下回る

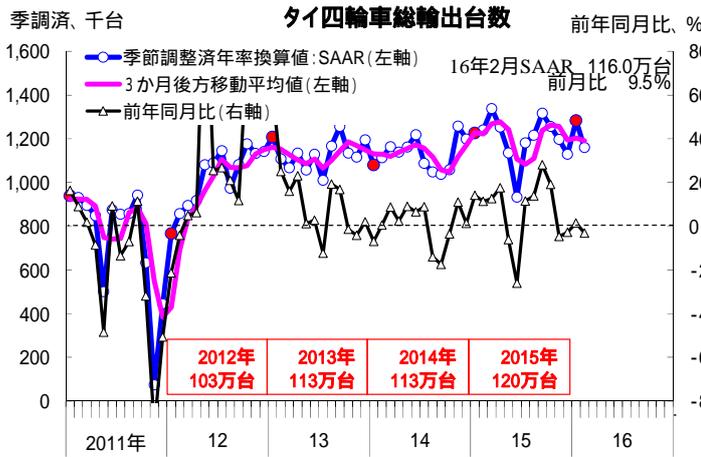
- ・タイ工業連盟が発表した2016年2月の四輪車総生産台数は、前年同月比7.1%減と3か月連続で減少し、季節調整済年率換算値(当社試算、以下SAAR)も前月比0.2%減の181.6万台と2か月連続の減少となった(図表1)。1月1日に新自動車税制が導入されたことに伴い、国内販売の減少が続いているが、2月は輸出の減少も生産を下押し形となった。
- ・2月の総輸出台数は前年同月比3.2%減と、3か月ぶりにプラスに転じた1月から一転して、再び前年割れとなった。SAARも前月比9.5%減の116.0万台と、2015 暦年実績の120万台を下回る水準にまで落ち込んだ(図表2)。
- ・2月の国内販売台数は前年同月比10.7%減と2か月連続で2桁%の減少となり、SAARも前月比2.9%減の70.7万台となった。(図表3)。業界では16年1月の税制改正前に生じた駆け込み需要の反動減が年明け後の国内需要をどの程度下押しかが注目されているが、16年1~2月平均のSAARは71.7万台と、大手メーカーの16年国内販売見通し(前年比1割減の72万台)に近い台数になっており、今のところ、内需減少は想定範囲内と言えよう。もっとも、2月の統計では国内販売の下げ止まりが確認できず、税制改正による需要の反動減が収束したと判断することができないため、3月以降の販売動向に引き続き要警戒である。
- ・国内販売に関しては、税制改正の影響に加えて、景況感の悪化も足かせになっていることに注意したい。タイ商工会議所大学が発表している消費者信頼感指数は、タイ政府の積極的な経済刺激策が相次いで発表された昨年9月から年末まで改善基調にあったが、16年に入ってから反転し、直近まで2か月連続で悪化している。世界経済の先行き不透明感が強まっていることに加えて、タイ国内での干ばつの影響拡大も懸念されており、消費者の自動車購入意欲は減退している(図表4)。
- ・2月は海外市場の景気悪化の逆風が輸出への大きな下押し圧力となり、内需低迷を輸出強化で補うことで国内生産を維持・拡大させようというメーカーの目論見が外れる結果となった。世界景気が早期に改善すると見込むのは難しいため、今後もタイ自動車生産への下方圧力が強い状況が続こう。

図表1 2月の生産(SAAR)は2か月連続の減少



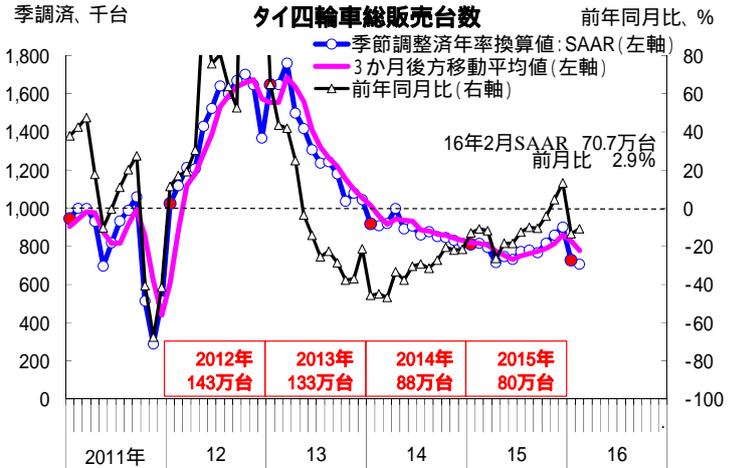
注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。  
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。  
 出所: Federation of Thai Industriesのデータを基に作成

図表2 2月の輸出台数は再び減少



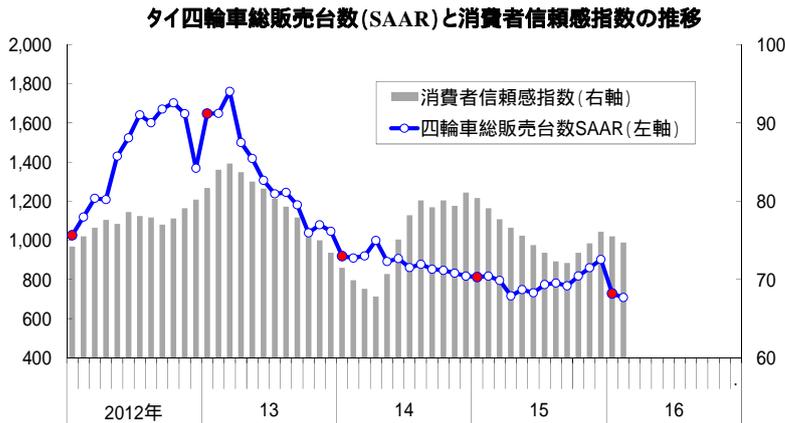
注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。  
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。  
 出所: Federation of Thai Industriesのデータを基に作成

図表3 税制改正に伴う国内販売の減少が続く



注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。  
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。  
 出所: Federation of Thai Industriesのデータを基に作成

図表4 景況感の悪化も国内販売の足かせに



注1: 赤塗りマーカーは各年の1月実績値。  
 注2: SAARは米センサス局法X-12-ARIMAにて浜銀総合研究所が試算。  
 出所: Federation of Thai Industries, University of the Thai Chamber of Commerceのデータを基に作成

担当: 調査部 産業調査室 深尾三四郎

Tel: 045-225-2375

Email: fukao@yokohama-ri.co.jp

本レポートの目的は情報の提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性・完全性を保証するものではありません。